



SAGA Rally 2026

Driver: TAKUMI IWAHORI
Team: 一六RACING

Co-driver: TAKAHIRO AIBARA
Car: GR YARIS

Date: 2026/4/3~4/5

4月に開催されたSAGA Rally 2026に参戦しました。

開催地となった佐賀県多久市は、天候や路面状況の変化が激しく、非常に難易度の高いラリーとなりました。

今大会は、昨年までの唐津開催から拠点を多久市へ移しての開催となり、新しいステージも加わったことで、ドライバー・コドライバーともに高い対応力が求められる大会でした。特にロングステージではタイム差がつきやすく、ペース配分や集中力も重要になるラリーでした。

DAY1は、SS1こそキャンセルとなったものの、実際の路面グリップを確認しながらペースノートの確認やリーディング練習を行うことができ、良いスタートを切ることができました。

SS2では走行直前にABSエラーが発生し、通常とは異なる状態での走行を強いられました。ブレーキングや車両バランスに影響が出る難しい状況でしたが、その中でもできる限りの走りを行いました。続くSS3では、ペースノートの情報不足やリーディングタイミングなど課題も見えた一方で、上位と遜色ないタイムを記録することができ、自分たちのスピードへの手応えも感じることができました。

また、SS5ではクラスベストタイムを記録。マシンのフィーリングやドライビングの感触も良く、速さを見せる場面を作ることができました。

しかし、DAY1最後のSS6では、コーナー出口の巻き込みに対応しきれずコースアウト。車両を損傷し、その日の走行を終えることとなりました。結果としては非常に悔しい形となりましたが、その中でも多くの課題や改善点を明確にすることができたと感じています。

DAY2では、前日とは異なるコンディションの中での戦いとなりました。泥や汚れが増えた路面への対応、スリッピーな区間でのコントロール、限られた状況の中での判断力など、実戦の中でしか得られない経験を積むことができました。

また、今回はコドライバーとの連携面でも大きな収穫がありました。大会序盤はリーディングタイミングやリズムに課題がありましたが、SSを重ねるごとに改善が見られ、走行中にリアルタイムで修正を重ねながら精度を高めることができました。チームとして成長を感じられるラリーになったと思います。



マシン面では、今回から導入したエンドレスさんのブレーキシステムのアップグレードによって、制動力やコントロール性が向上し、大きな安心感を得ることができました。その一方で、ABSの不具合再発やサイドブレーキの調整不足といった課題も見つかっており、次戦に向けてしっかり改善を進めていきます。

結果だけを見ると悔しさの残る大会ではありましたが、ドライビング、マシン、チーム連携のすべてにおいて、今後につながる非常に大きな経験を得ることができました。今回見つけた課題と収穫を活かし、次戦ではさらに上位を目指して挑戦していきます。

最後になりますが、現地で声をかけてくださった皆さま、配信やSNSを通じて応援してくださった皆さま、そして日頃から支えてくださっているスポンサー・関係者の皆さま、本当にありがとうございました。

苦しい場面も多いラリーでしたが、皆さまの応援が大きな力になりました。これからも成長した姿をお見せできるよう全力で取り組んでいきますので、引き続き応援よろしくお願いいたします。

